

【相続が発生し、遺産分割前に届け出るときの記載例】

農地法第3条の3第1項の規定による届出書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

〇〇市 農業委員会会長 殿

住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号
氏名 水田 一郎 印
住所 〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号
氏名 水田 二郎 印

下記農地 (~~採草放牧地~~) について、(相続) により (所有権) を取得したので、農地法第3条の3第1項の規定により届け出ます。

記

1 権利を取得した者の氏名等

氏 名	住 所
水田 一郎	〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号
水田 二郎	〇〇市〇〇町〇丁目〇〇番〇号

2 届出に係る土地の所在等

所在・地番	地目		面積 (㎡)	備 考
	登記簿	現況		
東峰村大字〇〇字〇〇432番1	田	田	3,000	登記簿上の名義人は水田太郎
東峰村大字〇〇字〇〇543番2	畑	畑	1,000	同上

3 権利を取得した日

平成〇〇年〇〇月〇〇日

4 権利を取得した事由

水田 太郎 (父) の死亡に伴う相続により取得

5 取得した権利の種類及び内容

権利の種類：所有権

内容例1：現在、村内の人に利用権を設定しており、引続き耕作してもらう予定です。

内容例2：〇月いっぱい、市内在住の親類に設定していた利用権の期限が切れます。

6 農業委員会によるあっせん等の希望の有無

例1：利用権を設定し、耕作されているので農業委員会のあっせんを希望しません。

例2：村外在住で、自ら耕作できませんので農業委員会のあっせんを希望します。